

1. 委員会を開いた年月日及び場所

平成29年3月9日 午前10時00分開会
小値賀町役場 3階第1会議室

2. 出席した委員の氏名

委員長	土川重佳
副委員長	末永一郎
委員	宮崎良保
委員	横山弘藏
委員	横浦英明
委員	松屋治郎
委員	今田光弘

3. 欠席した委員の氏名

なし

4. 出席した委員外議員の氏名

議長 立石隆教

5. 説明のため出席した者

町長	西浩三
副町長	谷良一
教育長	吉元勝信
会計管理者	尾崎孝三
総務課長	中川一也
住民課長	西村久之彦
福祉事務所長	植村敏彦
産業振興課政策監	木下誠子
産業振興課長	中村慶幸
農業委員会事務局長	〃
建設課長	蛭子晴市
教育次長	前田達也

6. 職務のため出席した者

議会事務局長	尾野英昭
議会事務局書記	岩坪百合

7. 付託を受けた事件の件名

議案第39号 平成29年度小値賀町一般会計予算

開会時刻 10 : 00

音声 2/3

委員長（土川重佳） 皆さんおはようございます。

ただいまから本日の予算特別委員会を開く。

昨日に引き続き、一般会計の歳出から質疑を行う。

第 3 款・民生費、第 4 款・衛生費、第 7 款・土木費、第 10 款・災害復旧費、第 5 款・農林水産業費、第 6 款・商工費、第 9 款・教育費の後、全課長等に入ってもらい、一般会計予算歳入歳出全般について質疑を行う。その後、第 2 表・債務負担行為、第 3 表・地方債についての質疑を行う。

最初に第 3 款・民生費から、款を追って質疑願う。

委員長からお願いがある。発言は少し大きい声でお願いする。

第 3 款・民生費

松屋委員

委員（松屋治郎） 社会福祉費の補助金、社会福祉協議会の補助金の 320 万の増の内容についてお願いする。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 社会福祉協議会は民間の社会福祉法人ではあるが、町としては自主性と自立性を十分に確保することが必要であることは認識している。補助金の主な用途である人件費については、原則としては社会福祉協議会の自主財源で賄うことができるものは社協で賄ってくださいとお願いしているが、社会福祉協議会の自主財源が主に会員の会費、共同募金の配分金、介護保健事業の収入、長崎県社会福祉協議会等からの受託事業が主な収益になっているが、それだけでは賄いきれない分については町が補助している。今回 300 万の増額は、先ほど言ったように人件費の補助ということになっているので、人件費が昨年度より増えている。昨年度は 1,400 万程度だったが、今回 1,700 万程度になっているので、その分補助金額が上がったということになる。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 300 万上がったというのは人数が増えたということか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 昨年度 3 人だったが、昨年度途中から 4 人に増えている。もともと 3 人でやっていたが、社協にも高齢者の採用を積極的にやるよう依頼が来ており、昨年度退職した職員と、今後のことも考えて 1 名の新規の職員の採用があっているので、その分で 3 名から 4 名に増えたということだ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

今田委員

委員（今田光弘） 48 ページだが、社会福祉費の 18 節・備品購入費の、まず大島の和楽苑のエアコン購入が 70 万円となっているが、ちょっと考えると 70 万円は高いと思うが、この内容を教えてほしい。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） エアコンの取替えになっており、2 台替えるようにしている。

1台が31万1,000円かかるので62万2,000円。工事費を含めて69万2,000円になるので、予算を70万円とさせてもらっている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 1台31万というのは普通の家庭用よりはかなり大きなものというか、業務用ということか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 委員言うとおりの業務用となっている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） その下だが、たんぼぼ荘の備品で90万円余り出ているが、この大まかな中身について教えてほしい。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） エアコン3台分と洗濯機3台分、乾燥機2台分。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 50ページ、児童福祉費の中に放課後児童クラブというのが28年度からだと思うが、活動状況について教えてほしい。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 去年の4月から開所したが、現在の登録人数が18名で、月曜日から金曜日まで放課後に預かっているが、月曜日が公民館が実施している放課後児童教室の山学校というのがあるが、それと重なるというのもあり利用者数が若干少ないが、1日平均10名前後で利用しており、児童クラブは基準時間といって5時半までの人と、延長保育で6時半までの人と預かっているが、ほとんどが5時半までに帰る方が多く、延長は1人2人が利用している状況だ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 横山委員

委員（横山弘藏） 4目19節の人口透析患者通院費補助金は現在何名が利用しているか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 2名だ。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 51ページ、小値賀町子育て世帯保育料の軽減事業で1,100万か。昨年が529万でかなり大幅に増えているが、子どもの数が増えたのか。それとも今まで待機していた人たちが保育園に入ったのか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 28年度当初の段階で52万6,000円ほど上げていたが、補正で、実績では今年度上げて1,110万と、ほぼ変わらないところまで上がっている。ということで、利用者が増えたということになっている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 今回、新規事業で高等職業訓練促進給付金等事業というのが120万ば

かりあるが、「資格に係る養成訓練の受講期間に給付金を支給し、生活の安定に資する資格の取得を促進する」とあるが、もう少し事業内容について詳細な説明を。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 母子家庭の母または父子家庭の父が就職の際に有利になるように、また資格を取って就職がよりスムーズにできるようにとすることで、資格取得のための助成金になる。今回、高等職業訓練促進給付金ということで、支給額が月額 10 万円になっている。1 人希望者がいたので、今回予算化したが、昨日の段階で転出して資格を取るということなので、この制度については住所地でもらうことになっているので、今回予算化はしたが今のところ当町では該当者がいないということになる。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 浦 委員

委員（浦 英明） 49 ページの 4 目の障がい者福祉費のところ、障害福祉系システム導入事業の委託料があるが、このことについて説明を。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） このシステムは障がい者サービスの申請の出力から支給決定、請求、支払、各種給付管理まで一括してサポートするシステムになっているが、導入業務としては障害福祉サービス、心身障害者手帳システム、精神手帳システム、障害児支援システム、自立支援医療システム、舗装具システム、日常生活用具システム、重心医療システム、ひとり親医療システム、乳幼児医療システムということで、障がい者福祉ばかりでなく少し福祉系のものも入っているが、このシステムを導入するメリットとしては、今、全ての申請、受付、決定、支給まで手作業でやっているのをシステム化することによって、申請された方に決定通知を出すまでの時間の短縮と、それに関わる職員の業務の削減をできるということで、今回このシステムを導入するが、昨年度 28 年度の予算で簡易なシステムということで上げていたが、それは国のほうがこの程度ならこのくらいでできるということでした、それではシステムのあまり上等じゃないということで、今回、今は既存の RKK が入れているが、マイナンバーの関係で、既存のベンダーが作ったシステムのほうがいだろうということで、今回これを入れさせてもらうように考えている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） RKK とか熊本の RKK か。分かった。その下の 19 節の負担金の街かどふれあいバザール運営委員会負担金 3,000 円あるが、これについても内容を尋ねる。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 街かどふれあいバザール運営委員会というのは、県下の授産施設をはじめ 80 余りの福祉施設を利用する障がい者が、日ごろの作業訓練の中で懸命に作った商品を販売し、その収益による障がい者の所得向上や障がい者の社会参加に対する一般社会の理解を深めるための組織であり、元来、自分たちが作った商品を売って収益を上げて、ということだが、厳しい社会環境の中で、売った一部を運営費に充てているが、そ

れがなかなか上がらないということで、障がい者の所得向上がなかなか上がらないということもあり、今回、自治体等に賛助金というか、一口 3,000 円ぐらいどうですかということとで来ていたので、今回この 3,000 円を予算計上している。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） これは小値賀ばかりでなくよそにいる方も該当するという意味か。小値賀町でこういった委員会を開催するということか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 町の分については町村会のほうから出してくださいということとで来ており、各自治体もそれぞれ負担割りがあり、それで出すようになっている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 今少し分からなかったが、後でまた聞くからいい。その下の 20 節の扶助費。これが 27 年度からすれば 700 万ばかり上がっており、その主なものが次の 50 ページの障害者自立支援給付費のほうが上がっているのです、この内容について尋ねる。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 人数的には変わらないが、障害の程度が上がっていくので、程度によって給付費が上がっていくので、そういうことで今回、昨年度よりも増となっている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 高額な人で大体どのくらいか。例えば 10 万から 20 万、あるいは 100 万から 200 万あるのか、そこあたりでいいが、尋ねる。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 平均 1 人当たり 18 万程度になる。最高額については手元に資料がないので後で答える。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 53 ページの一番上の臨時保育士賃金というのがありますが、これも大幅に増えているのでまず内容を尋ねる。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） こども園の園児の増加により保育士が必要になるということで、昨年度と比較して 3 名ほど増加する予定での予算を計上している。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 何名か分からなかったのですが、確認の意味で聞いたが分かった。その下の臨時調理員の賃金はほとんど変わってないようだが、これでいいのか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 調理員については、嘱託職員が 1 名、臨時職員 2 名の 3 名体制で行っている。今年度も前年度同様に体制が継続されて問題ないと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 浦議員の質問に関連するが、臨時保育士の賃金が年々増えている傾向にあると思うが、正式な保育士の採用見込みはどうなっているのか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 言うとおりの、保育士については現在、職員が6名だ。今年度1名退職予定だが、こちらとしても保育士を確保するというので、今年度から執行部に頼んで、通常なら統一試験ということで1次2次、期間を決めて職員募集を行っているところだが、通年募集という形で、常に募集を受け付けるという形をお願いしている。また小値賀町出身者で実習生として保育園に来た人の自宅にも電話をして、こういう状況なのかどうか、というご案内をしたり、長崎県の保育業界への求人案内、九州内の大学・専門学校に求人案内を今年度は2回行った。そういうことで、職員に関しては確保する努力はしているが、問い合わせはあってもなかなか実現して、来てもらうところまで行けていないのが現状だ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 保育士も診療所の看護師と一緒に、慢性的な不足が続いていると思う。こういうふうには賃金が増えていくのは仕方ないと思うが、やはり若い人材を確保するためにも、こういったものにも奨学金制度を設けて、保育士を育てる政策も必要かと思うが、その辺どう考えるか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 今聞いたところでは保育士については奨学金がないそうだが、施政方針でも言ったように、小値賀に帰ってくる見込みがありそうな人が進学をする場合、奨学金を出したらどうかということで、この当初予算には間に合っていないが、研究をして、業種に限らず小値賀に帰ってくる小値賀の後継者ということで対応をしていきたいということで、要綱ができ次第また予算措置も含めて補正をお願いしたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 53ページの11節の消耗品で150万上がっているが、その説明を。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 主なものとしては保育の教材費が約70万程度、後はコピー関係の消耗品が48万程度。後は厨房関係の消耗品というのが主な内容だ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 浦 委員

委員（浦 英明） 54ページの生活保護費の1目の給料で、職員給が2名ということだが、ずっと前のを見ていたら、28年度の2号補正で1名減になっている。そのとき聞いておけばよかったが聞かなかったのが、ここで2名となっているのは何故か。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 今、福祉事務所には福祉係と生活支援係というのがありますが、生活支援係が生活保護業務をやっていて、そこに2名の職員がいるのでその2名分に対応しているということで、金額が若干下がっている分については、以前3名だったが、そこ

に所長職がいたので所長職のほうが少し給料が高いということでその分上がっていたが、そちらが社会福祉総務費のほうにいったので、金額も下がっているし、2名はそういうことで2名となっている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 分かった。それから20節の扶助費が前年度より380万ほど減になっていることについて尋ねる。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 減額になった要因については、生活扶助費の支給額が減ったということだが、生活保護の場合、年金収入とか就業収入とかがあればその分を引いて保護費を支給することになるので、うちとしてはできるだけ、働くことができる人については毎日毎月働くということでも働くことができればいくらかでも働いて、その分保護費を抑制しようということでケースワーカーが努力をしており、その努力の結果かと思う。ちなみに平成7年度の生活扶助費は1,700万程度、それから平成28年度、決算額になってくるが、それで1,400万円程度に落ち着くかと思っているので、今回もそれに近い額になるかと思っている。

先ほど浦議員の質問に保留していた件だが、最高額は1人年間600万ということになる。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 民生費の質疑を終わる。

（福祉事務所、教育委員会 退室）

委員長（土川重佳） 第4款・衛生費 横山委員

委員（横山弘藏） 1目19節・看護師奨学金補助金240万円。これは今何名が利用しているのか、実績など教えてほしい。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 昨年度は1名だが、今年度29年度は2名の予定だ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） この奨学金を利用した生徒は卒業後もしくはその後、小値賀町に帰ってきている状況はどうか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 予算ではなくてその前に奨学金を受けて帰ってきているか、ということか。この方は今から受けるので、2名受けるが、一応帰ってくるのを前提で奨学金を出しているの、前の方もほとんど帰ってきていると思う。5年間とか期限があるが、途中で向こうに行った人もいると思うが、現状ではそういうことだ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 59ページ、3目の19節・生ごみ処理機設置事業補助金168万円。これは今、何軒ぐらいが利用しているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 28年度の状況ということで説明する。地上型コンポストが約50個、電気乾燥型10個の補助金請求があったので支給している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 数を見ればまだ少ない気がするが、やはり焼却場の寿命を少しでも延ばそうということで取り組んでいると思うが、もう少し啓蒙など行い、利用を促すようなことは考えているか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 昨年度から強化したが、実績が今、説明したとおりだ。引き続き強化していきたいと思うので、今年度、普及等力を入れたいと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 私事で申し訳ないが、私の家では電気の処理の機械を補助金をもらって入れた。様子を見てみると、蓋を開けてみるといいにおいがするくらい処理能力がある。それを畑とか花壇にばらまいて使っているが、生ごみをかなり出さなくて済んでいる状況だ。そういうことで、やはり使っている方のアンケートなどもとって、大いに宣伝をして、こういう予算を大きくとって、小値賀町の焼却場の維持管理が長くできるように頑張ってもらいたいと思うが、その辺いかがか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 今、実際使っている議員さんのほうから「いいよ」ということでいただいたので、先ほど言ったように普及を強化して、一層生ごみを出さないような対策をしたいと考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 58ページだが、12節の役務費の中に、28年度は公衆便所の汲み取り手数料が7万3,000円計上されていた。今年度はそれが入っていないが、理由は何か。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） その汲み取りは番岳の下の岳の内調整池の揚水機場脇の便所の汲み取りで、今まで建設課で予算化していたが、29年度からは産業振興課の農地費で予算化している。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 保健衛生費、13節・委託料だが、葬祭場関係の委託料が3つある。電気工作物保安管理が18万2,000円、設備等点検が2万6,000円ということで、葬祭場の係に聞けば、相当、葬祭場が傷んでいる、燃料漏れも心配されるということなので、あまりにも金額が少ないので、どのような点検をするのか伺う。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） これは町外の業者に点検委託している。毎年同じような数字で計上しているが、この額で適切な点検ができているものと考えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 保守点検設備等については町外の業者に委託するということが、あまりにも金額が少ないので、旅費とか付けるとほとんど点検はないのではと思う。もう少しきれいに隔々まで点検してもらえればと思うが。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） あくまでも点検委託なので、修理は別に修理代を組んであるので、主に炉の関係の点検だと思うので、金額的にはこんなものかと思う。葬祭場も含めてだが、全体のところで雨漏りがするといろいろな問題が出ているので、昨日の一般会計のときにあったように、総合的に、ある業者に町内の公共施設の雨漏り等については一緒に見てもらおうと考えている。そういうことで、葬祭場と書いているが、ほとんどが機械の点検ということで理解してほしい。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 62 ページ、清掃費が一番上で、最終処分場の地下水水質検査委託料があるが、ここ何年もしてなかったの、何年に1回ぐらいするのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） これは最終処分場の地下水が汚染されていないか、主にダイオキシンの検査をしているが、毎年計上している。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 後でどこに計上しているのか教えてほしい。見たけど見つからないので。23年度24年度を見たら168万とか大きな金額が出ていたので、5年に1回なのか10年に1回なのかと思ったので。水質については検査の結果はどうか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 検査結果は基準値以内で収まっている。それと、見当たらないという話だが、28年度までは12節のほうに入っていたということで、今年度からは13節に入れている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 63 ページの一番下の13節・委託料の雑排水槽清掃委託とあるが、内容の説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 雑排水槽が平成7年に建物が完成されて以来、清掃をしていない。底に汚泥、砂等が溜まって固まっているため、特殊強力吸引車と高圧洗浄車で作業する必要がある。そのため町内の業者では作業できないので、委託料ということで考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 予防接種とか健康診断、その辺が、もらった主要事業一覧の10番11番に入っているが、内容を読むといい内容だが、それなら全額個人負担をなくしてもいいのではと短絡的には思うが、いかがか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 推進する上でも、全員を 0 円にするということだと思うが、内部で検討させていただきたい。即答はできない。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 衛生費の質疑を終わる。 住民課長

住民課長（西村久之） 先ほどの横山議員からの質問だが、看護師の奨学金は、今までに何人受けて何人がこちらに帰ってきて、今現在何人小値賀にいるのか、正式に調べて一覧表にしたいと思うので、先ほどは大変不親切な答弁で申し訳なかった。後で資料を上げたいと思う。

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

（住民課退室）

— 休 憩 午 前 10 時 58 分 —
— 再 開 午 前 11 時 06 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

第 7 款・土木費

横山委員

委員（横山弘藏） 1 目 19 節、小値賀町空き家改修事業補助金と小値賀町空き家活用移住促進事業補助金。これは町長の説明にもあったと思うが、もう一度内容の詳しい説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） これは移住者が町内の空き家を有効活用することに対する補助金で、改修費の 2 分の 1 以内、200 万円を限度と考えている。移住者とはどういう人を指すかということだが、町内に住所を有していない、または町内に移住してから 12 月を経過しない人と考えている。また町外者とは、町外に 3 年以上居住している者またはしていた者と考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 小値賀町の空き家の、これに活用できる家は何軒ぐらいあるのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 対象としては空き家バンク等の制限はかけていないので、移住者がこちらで空き家登録している空き家を利用したいというのであれば該当すると考えているので、何軒かと言われると、手を入れなければならない空き家など、いろいろあるので、ちょっと軒数的には把握していない。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 同じところの上の老朽危険家屋除去支援事業補助金が 100 万あるが、我が唐見崎にも危険なのが 2 軒ほどあるが、非常に問題になっている。そうした関係で今年、この事業を使って解体した家屋はあるか。実績を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 28年度では実績はない。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 今年の予算を獲得したということは、計画があるということか。ないのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 今のところ予算を確保しているという段階で、まだそういう話はきていない。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） せっかく予算を獲得したので有効に使ったほうがいい。景観上もいいと思うので、町民に対して啓蒙活動は考えていないのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 空き家対策ということで、危険家屋も含め、先ほどの質問の分も含めて28年度も啓蒙普及したところだが、また29年度は強化していくらかでも実績を上げたいと思う。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 今のところで、この前火事になった斑の家の撤去の場合は、適用は無理か。家屋じゃないということか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） こちらが考えているものは、以前居住していて、居住しなくなったがために危険になった第三者というか、通っている人が危ない、という建物を考えているので、それは対象にならないと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 86ページの15節、6,000万円、町道野崎本線整備工事の内容は、どのような整備工事になるのか。詳しく聞きたい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） この路線は野崎港から自然学塾村までの道路だ。ご存知のとおり道幅が狭くて危険だということで、この事業により、今、コンクリート舗装の1.5メートルの道幅を、基本5メートルにしたいと考えている。また、道下への転落を防護するために防護柵を必要などころには設置したい。また道路の上の部分ののり面に大きな石、落ちそうな石が2カ所あるので、それを落ちないようにしたいと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） あそこの道は海岸線のほうが日に日に削れていっている。道の下が。かなり難工事というか、難しい工事になると思うが、崩れないようにする工事を考えているか、説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 基本的には今の地形をほとんど変えないという基本であり、この道路工事の主なもの、今道路として使われている面を危険がないように、使いやすいようにするという事なので、それよりも下側の波で削られている部分に関しては、危険なところには防護柵をすると考えているので、手を付ける予定はない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） その野崎の道だが、実際に危ないところがあるが、道を通って一番気になるのは、ピークを過ぎて学塾村に向かって下りていくあたりの左側に大きな石がある手前だが、海岸から吹き上げられた砂が溜まる。何か対策をしないと、かなり厚く砂が溜まって、その後雨など降ると危ないので、その辺は考えているか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 砂を防ぐための対策は今のところ考えていない。先ほど言ったように、基本、あまり扱わないようにしたいと考えているので、砂が溜まればあそこの管理人とか、場合によってはたくさん溜まれば機械を持って行って片付けるとか、そういうふうな形での砂の除去は行いたいと考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 1回強い台風とか来ると、本当に3センチ4センチ砂が溜まるような状況なので、もしそういうことなら普段からチェックして対応していただきたいと思うが、どうか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 今年の4月からビジターセンターが開設ということで、そこに管理人が昼間だけが常駐する形になるので、状況を報告してもらい、必要に応じて、砂の除去を建設課が直接するのか、少なかったら管理人にお願いするのか、そういうことは今後、危険でないようにしていきたい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） その道でもう1つ気になるので聞きたいが、やはり野崎の景観、自然環境の状況からして、道路を普通の白いコンクリートで固めるのか、それとも目立たないというか、野崎の自然に合ったような舗装をするのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） コンクリート舗装を1.5メートルのところを2メートルと、50センチ程度、基本的には打ち接ぐという形になるが、色粉を付けて、真っ白ではなくてちょっと黒味があった色に仕上げたいと思っているし、また、洗い出しといって、表面を、打ったすぐ後に洗って、碎石の凸凹を出すということで行いたいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） それは大変いいと思う。特に上りかけの、意外と急な坂がある。ああいうところが結構、高齢者はすべる危険性があると思う。そういったところも十分気を付けて舗装をしてほしいと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 86 ページの 3 項・住宅費だが、11 節に修繕費で 420 万上がっている。内容の説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 町が管理している住宅が 98 個ある。その住宅の維持管理に当然使うわけだが、金額的に大きいのは、例えば風呂のボイラー。1 個替えるだけですぐ 30 万 40 万かかる。それとか古いところは壁塗りとか、そういうのがもろもろあり、3 年間の平均をとって 420 万と考えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 具体的にどこをするというのは、まだないということか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） これまでの維持管理をする上で毎年これぐらいかかっているということなので、特別これをするというのはない。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 同じ 85 ページに修繕費が 525 万上がっているので説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） これは道路の修繕料だが、この中には町内全域の道路の管理を建設課がしている。古くなっているので、舗装の傷みとか、場合によっては陥没とかいうところが出てきている。これまでの維持管理をする上で、毎年これぐらいかかっているということ計上している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 1 項・土木管理費の 2 目 8 節、五島列島デザイン会議地域協議会出席謝礼金。この五島列島デザイン会議はどのような活動をしているのか伺いたい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） これは五島市、新上五島町、小値賀町の 1 市 2 町で五島列島の景観をいかに保つか、守っていくかということを中心に、これからの五島列島の発展というか、景観を中心に行うということ組織しているものだ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） これの取り組みは小値賀町においてはこういった取り組みをしているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 道路の主なところに黒い標識を立てている、どこどこまで何キロとかいうのが目につくかと思うが、主な仕事としては、ああいうものをどういものが小値賀に合ったデザインかということから始まり、どこに設置したらいいかなども協議している。そしてああいう形での設置を行っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第10款・災害復旧費

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第5款・農林水産業費 横山委員

委員(横山弘藏) 1項・農業費、1目1節の農業委員会報酬(能率給)243万2,000円上がっているが、これは今回、各種委員の手当の面でも出ていたが、能率給のところ。調べてみると、他の自治体では時給1,000円とか条例で決めているところもあるようだが、小値賀町においてこの能率給の支給のあり方はどのように考えているのか。またその仕事の内容とか分かれば教えてほしい。

委員長(土川重佳) 農業委員会事務局長

農業委員会事務局長(中村慶幸) 農地利用最適化推進事業のことだが、農業委員会の報酬として能率給243万2,000円予算化しているが、これは昨日も言ったが農業委員プラス農地利用最適化推進委員の活動のための予算で、お尋ねの報酬の考え方だが、この能率給の中に国の制度の中で、活動分と成果分に分けて交付される形になっている。活動分が3割、成果分が7割という内訳だが、これは標準の活動時間が6時間と設けられており、予算の中身としては活動分は時給1,000円の6時間掛ける活動者数で、7月20日から新制度に、うちの場合は移行するので8カ月という考え方だ。成果分に関しては、これは制度で決まった額だが、1万4,000円ということで、それに農地の巡回であるとか担い手参入促進の活動、中間管理事業に対する斡旋、農地の利用状況調査などが事務になるが、その実際の成果に基づいて配点があり、それに応じて、先ほど言った人数掛ける8カ月ということで交付がなされるので、それを見込んでの予算化をしている。

委員長(土川重佳) ほかにないか。 浦委員

委員(浦英明) 65ページの一番下の報償費。イノシシの捕獲報奨金が205万計上されているが、28年度の見込みが180万ぐらいだったので、それよりも少し上がっているが、このことについて尋ねる。

委員長(土川重佳) 産業振興課長

産業振興課長(中村慶幸) イノシシの捕獲報奨金だが、1頭当たり1万円ということで見込んでいるが、今年度の実績が今の時点で123頭だ。28年度当初予算で100頭分で予算化していたが、途中、27年度をかなりの勢いで上回って捕獲が進み、追加で補正計上したが、今言ったように現在123頭ということで、29年度においては200頭相当分の捕獲ということで予算計上している。

委員長(土川重佳) 浦委員

委員(浦英明) 1頭が1万円ということであれば200万だったら約200頭か。イノシシは5頭から6頭持つというから、この5倍6倍掛ければ1,000頭ぐらい小値賀にいるということか。はっきり分からないだろうが、概算で分かれば。

委員長(土川重佳) 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） それは私も知りたいところだが、県の農山村対策室、有害鳥獣駆除等の担当部署だが、そこに一度尋ねたが、イノシシはそういうデータの捕捉の仕方が確立されていないということだった。とにかく一生懸命守って捕ってくださいという話だったので、そのように頑張りたいと思う。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） それと、猟犬による捕獲も一応したと聞いているが、29年度もやるのか。またどういうふうにしてやるのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） イノシシの猟犬、猟銃による捕獲に関しては27年度も実施したが、県北地域の有害鳥獣対策事業として行っている。その中で計画として上げて、29年度も取り組む方向で考えている。今年度は、もう聞き及んでいるかもしれないが、延べ3日間実施して、捕獲実績は3頭だった。雌がそのうち2頭だったが、お腹の中に6頭と7頭子どもがいたということで、実際私も解体する場所に立ち会って確認したが、そういう状況だ。今回、鹿児島、宮崎の方にツテがあって来てもらったが、来た方たちも最初現場を見てそれなりに自信を持っていたようだったが、結果はそのような結果だった。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 内容は分かった。箱罾とかくくり罾とか、猟犬によるものとかいろいろやっているが、何かほかにも方法はないのか。何か策があれば尋ねる。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 私自身、自信のある策は持ち合わせていないが、全国農業新聞等にも出ていたが、やはり基本的な対策として、緩衝帯を作るのは不可欠であると。電気柵だけでは被害がなかなか減らないと。近くの茂みが隠れ場所になっていて、緩衝帯がなくて、その際に電柵とかワイヤーメッシュとか張っていても突破されやすいという話なので、前にも言ったが基本的には集落の皆さんの活動の中でも、しっかり守ること、それから捕獲する、それから緩衝帯を作る、イノシシの隠れ場所を減らすということで、放牧の推進であったり、今のところうまく生産できていないが、ヤギの活用であったりという、今できることというのは大事だと思っている。それから先日、バラエティ番組だったが、平戸の旧大島村でICTを活用した捕獲というのがあり、実際3頭、小さかったが捕獲するというのがテレビで放映されていた。内容はスマート放牧と同じと考えてもらえば、タブレット端末を使って、夜間なので暗視カメラで罾の様子を見て、全頭入ったときを見計らってタブレット端末のスイッチを押して扉を閉めるというようなものだった。そういったものを特に見回りが大変な場所とかに導入できないかということは、情報を集めて検討していきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 関連するが、123頭ということで去年より大幅に増えている。冬場になって増えている原因が、野崎島での捕獲がかなり大きいと聞いているので、今、小値賀町

のみと野崎島での捕獲の頭数は分かるか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 去年の11月から野崎に箱罾を設置して捕獲を開始したが、1カ月ぐらいいは餌付けに時間を要したと思うが、それからはほぼ順調にというか、最初2カ所だったが、罾の場所を5カ所まで増やし、捕獲が進んでいる。頭数だが、正確な数字は持ち合わせていないが、20頭から30頭の間が確か野崎の分だと思う。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 同じページの報酬にイノシシ防護柵見廻隊とあるが、何名ぐらいいで毎日見廻っているのか、日にちを決めて回っているのか、そこら辺の説明を。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 今、常雇いというか嘱託で2名がいて、基本的には私たちと同じ月曜日から金曜日までの活動だ。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 67ページ、13節の委託料、六次産業化推進事業委託料として520万計上されている。理由を見ると、地元産品を活用した特産品加工の開発、加工品目の販売促進、展示等への積極的参加や営業活動を支援ということが書かれているが、品目等についてはまだ決定はしていないのか。また営業活動については、ただ単に物産展への参加で「売れたよ」で終わるのか、それから先またその地域で個別に営業活動していくのか、活動方針があれば伺いたい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この事業は離島活性化交付金を活用しており、29年度が2年目になる。委託事業として担い手公社が取り組んでいるが、六次産業化推進事業の中身としては、委員が言った物産展への参加や落花生の栽培管理、加工品の開発のための原材料や肥料などの諸経費のほかに営業経費も一部含まれているが、この事業だけで商品を決めていくというよりも、担い手公社の独自の事業プラスこの事業プラス担い手公社に貼り付けている協力隊のメンバーの商品開発というものが1つのパッケージになっているという格好で進めていくものだと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 特産品の開発については、確かに担い手公社等に任せたいと思うが、やはり営業活動等については役場の職員が物産展の参加等にはついていくのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この事業、担い手公社の事業も協力隊の事業もそうだが、基本的には町の産業振興課の職員が一緒に行くという予定はない。アイランダーぐらいいかなと思っている。担い手公社に町の職員も派遣しているので、それらの人材を中心に進めてもらいたいと思っている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 分かった。これに近い事業は長年ずっとあっていたが、役場の職員がついていかないと、物産展に行って「ああ売れた売れた」で帰ってくる、そんな感じだった。これではいくらい商品を作ってもなかなか売れないと思う。やはりその後、東京に行けば東京の小値賀店とか、長崎の店があるので、その辺に営業活動なりをきちっとしていったほうが、より小値賀の産品を受け入れやすくするのかなと、そこら辺がずっと疑問だったが、そういった考えは今後ないのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 確かに離島活性化交付金を充てている六次産業化推進委託事業に関しては、委員が言うように販売促進として物産展の参加とか、一過性のものというふうに捉えられるものも含まれているが、先ほど言ったように、この事業とは別に担い手公社の事業としての販売促進活動の中に、営業であったり商談会への出展であったり出席であったりがあるので、これは国庫事業なので、その事業計画に沿ったもので事業は進めていく必要があるのですが、そこは、はまったものというふうに理解をいただきたいが、役場の職員の出席といったことに関しては担い手公社とも協議をし、必要とあれば考えたい。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 75 ページの 13 節・委託料の中にダイビングスポット調査委託料とあるが、これは場所はどこか決めているのか。そして漁協との話についてはいつているのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） ダイビングスポットの場所については定めていない。今年度から調査事業をやるが、漁協の承諾、合意はしている。今年度は冬場の研修になったが、和歌山県に視察研修に行っている。その際には漁協の組合長、筆頭理事、兼漁業者になるが、そういった方にも同行いただいている。28 年度は今月下旬に地元でスポット調査を実施する。29 年度は今度は夏場に実施したいと思っている。繰り返しになるが、場所は調査のときにいくつか地点を定めることになると思うが、複数回って見ていくことになる。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 場所ならばおそらく沖縄と一緒に、観光でするならサンゴのはびこったところがスポットになると思うので、こういうところはやっぱり海士仲間が現場を良く知っているの、そこら辺はやっぱり海士仲間と話し合いをしながら場所的なことは決めたいと思う。今からの観光ならば、やはりこういうことは生かしてもらいたいと思うので、引き続き調査、研究してもらいたいと思うので、よろしく願います。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 漁協ならびに漁業者との連携という意味では、末永委員が言うように巻き込んでいきたいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 67 ページ 13 節・委託料に地域おこし協力隊担い手公社派遣事業デザイン委託、同じく公社派遣事業商品開発委託、同じくマーケティング委託、3 つあるが、こ

の内容について、ざっくりで結構なので教えてほしい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 29年度、担い手会社の協力隊の予定人員として3名いるが、1名がテスト販売、ショウガの加工品を開発している人で、その販売用パッケージのデザイン。マスタードの試験栽培等を実施している人がいるが、それもパッケージのデザイン。それから商品開発の委託料。それからもう1人が販売促進策としてのパッケージの見直しや販路開拓等を担当しているが、それはパッケージデザインの委託、マーケティングの委託、広告デザインの委託というような内容になっている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 今伺った内容だと、地域おこし協力隊のメンバーは本来それが仕事ではないのか。あえて委託で出す必要があるのか。本来業務だと僕は思うが、いかがか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 協力隊を担い手会社に貼り付けしているが、予算管理自体は町で行って、契約も町が行うことになるので、そういう予算措置になっている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 理解した。主要事業一覧の2枚目の22番の事業内容に「担い手会社の加工品開発、広報、販売部門で町の活性化をはじめ、会社の経営安定化に資する活動等を実施」と書いてある。担い手会社の経営安定化に資する活動をするのが地域おこし協力隊の役目なのか。地域おこし協力隊というのは、地域の人あるいは地域のために1人1年間400万円、3年間1,200万円プラス卒業して100万円、皆さんの税金を使って1,300万円というお金を1人当たりにかけている中で、果たして担い手会社の経営安定化に資する活動というのはおかしくないか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 会社に配置している人たちは、地域おこし協力隊の募集をする際に雇用の、要は組織に雇われることを望んだ方、当然、途中迷いが出る方、やっぱり独立起業したいと方向転換する方いるかと思うが、基本的に雇用を前提とした協力隊の募集に応募した方となっており、会社に配置されているが、担い手会社も、委員皆さん承知のとおり、事業的に厳しい面もある。そういった中で、雇用に配置されて自ら商品開発、販路開拓等に取り組むことによって自分の居場所というか、自分の給与を稼ぎ出すような取り組みをしてもらおうという考え方だ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 今言ったことは分かるが、地域おこし協力隊は担い手会社に入る段階で、例えば自分が意匠というか、考えたデザインとか、あるいは商品の開発の中身については、その著作権は担い手会社にあるとあって、つまり3年間担い手会社で一生懸命仕事をしてきたとしても、じゃあその後、小値賀に定住するとなったときに何も残っていない。技術的なものはあるかもしれないが、3年間かけてやったものが何も残っていないということ

は、結局定住できないのではないだろうか、僕は思う。そういう意味では、ちょっとうまく表現ができないが、その辺はいかがか。そのまま定住につながると思うか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 正直、難しいお尋ねだが、ひとつの考え方だが、先ほど言ったように雇用型なので、何かを開発したときに権利が組織のものになると。しかし先ほど言ったように、途中で「やっぱり起業したいな」という方が出てくる可能性があるので、そういうときには、もちろん私たちも入って仲立ちをして、その方が一生懸命頑張って開発し、それで発生した権利といったものについては、その方に帰属できるように、法律的にどうなるのか分からないが、そういう働きかけはしていきたいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） すごく前向きな答えだと思うが、本当に、担い手公社が人が足りないから地域おこし協力隊を雇うと見えてしまう。もともと地域おこし協力隊とは何ぞやと考えると、確かに来てくれると、地域おこし協力隊全体の話だが、すごく小値賀も助かっているし活性化につながっていると思うが、人が足りないからそこに雇用型で雇おうということではなく、やはり将来小値賀に定住してくれる人を中心にということを考えると、「担い手公社の経営安定化に資する」というのはちょっと違和感があると思うが、最後にいかがか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 改めて読み返すと、言われることも分かる。書き方としては適当でなかったと思うが、考え方としては、先ほど言ったように、担い手公社の一員として定着することを前提に活動している中において、担い手公社の成長というのが不可欠になるので、そういう趣旨での表現になってしまったということで、ご理解いただきたい。

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

— 休 憩 午 前 12 時 00 分 —
— 再 開 午 後 1 時 30 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

今田委員

委員（今田光弘） 70 ページ、19 節の補助金だが、スマート放牧管理事業補助金が計上されている。スマート放牧、去年から始めていると思うが、実際にうまくいきそうなのか。見通しなどを聞きたい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 委員が言うように 28 年度から実証事業がスタートしているが、現在、繁殖雌牛の導入推進事業等を活用し、5 頭の導入を図っている。子牛も 1 頭生まれているが、年末に生まれたので、まだこれから成長させて販売していくことになると思うが、今年度も予算を上げているが、繁殖雌牛の導入推進事業、国庫補助事業を活用してさらに

また5頭、最終的には15頭という事業計画になっているので、排水の不良の問題であるとか、給餌量のコントロールとか、画一的にならざるを得ない部分があり、成長段階に合わせてとか、妊娠牛の餌の量の調整など、課題はあるが、今のところ無難に進んでいると考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 74ページ、12節の役務費の中で、毎年上がっているが、藻場再生事業のボランティア保険料が上がっている。藻場再生がすごく重要ということはいつも話しているが、ボランティアということでもいつも引っ掛かるが、ボランティアではなくて、もっとちゃんとした形で進めることはできないのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） ボランティアダイバー事業だが、離島活性化交付金を活用して取り組んでいるが、現在は福岡の海洋学校というか、ダイビングの学校と連携して、そこから生徒等と呼んで活動をしている。学生に取り組んでもらっている事業だが、今のところ、学生なので保険料や旅費といったものしか対価としては見ていない。ちゃんとしたものというのが、ちょっと私もイメージがしにくいですが、今のところはそういった形で、今年度は町内のダイバー、有資格者が町の職員も含めて10数名いるが、その事業に関してもスタートは手弁当でと考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そこをボランティアではなくて、ちゃんとした職員とか、業務で委託するとか、そういう考えはないのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 今、ガンガゼとかウニ類の駆除に関しては離島漁業再生支援交付金を利用した小値賀漁業集落の漁業者の活動という部分と、ボランティアダイバーの事業になるが、今のところ委員ご指摘の、生業としてのということかなと思うが、そういうイメージはまだ持っていない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 分かった。次に77ページ13節の委託料の中にプレジャーボート対策調整促進業務委託料というのが、これも20万円去年に引き続き計上されているが、この中身について教えてほしい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） これは笛吹と斑の港の管理で、それぞれの小発動組合に港の中の管理を委託しているものだ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 79ページ13節の委託料に小値賀島地区漁港機能保全調査業務委託がある。28年度は390万円だったと思うが、今年度1,600万円という大きな金額になっている。この内容について教えてほしい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） これは漁港の長寿命化計画で、浜津漁港と野崎漁港を予定している。老朽化調査を行うとともに、今後、長期的な維持管理を計画的に行うために計画するもの。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 維持管理も含まれているのか。それとも維持管理のための調査か。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 修繕計画、今後の修繕、老朽化したところ等の修繕を計画的に行うための委託だ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 確認する。調査業務で、現場で何かをするということではなく、あくまでも調査業務ということか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） はい。調査業務だ。浜津漁港において、いろいろな施設があるが、36 施設、そして野崎漁港では 11 施設の調査計画等を行うものだ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） わかった。もうひとつ、同じく 79 ページの 19 節・負担金ということで、小値賀漁港水産生産基盤整備工事地元負担金が 340 万円。これはもらった A3 の紙では 59 番か、「小値賀漁港の耐震強化岸壁の完成に伴い、背後の用地及び道路を整備する」ということだが、小値賀漁港というのは旧ターミナルのことを言っていると思うが、僕の不勉強で申し訳ないが、これは耐震化して将来何になるというのが全然イメージがわからないので、できたら説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 大きな災害、例えば大きな地震があった場合、ほとんどの施設が壊れる…ほとんどというのはおかしいが、そこを耐震化しておくことによってその施設だけは大丈夫なような対策をしている。なので、いざほかの漁港が使えなくなっても、その漁港だけは使えるということで、そこからの物資等ができるということだ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そうすると、とりあえずは空いたままで、いざというときに使うだけで、何かほかに使う、使うと言っても岸壁だが、今のところ使用する目的はないということか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 今言ったように、特別使う計画はないが、具体的に言うと、岸壁の裏込めにバラスを使っている、従来のあれは。そうすると地震で揺れると隙間ができて上が落ちる。ということを防ぐために、わざわざ前も入れていたバラスを全部取り出して、そして、先の話ですれば、西目に 1 回仮置きして、それから今、そこの埋立地に埋めたと。

その理由はバラスでは揺すられると隙間ができて、どんどん下に落ちていくので、上の舗装と中に空間ができて、それが落ちて船が着けられなくなるということを防ぐための工事だから、それ以外の目的というのは、課長が言ったように、あとは災害対応ということになるかと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 後に戻るが、72 ページ、林業費、林業振興費の 13 節・委託料に保全松林緊急保護整備（衛生伐）の作業委託料が 798 万 6,000 円載っている。主要事業一覧のほうを見ると 811 万 6,000 円となっている。金額がちょっと違うなと思っているが、どうなのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 言うように、衛生伐の委託料で 798 万 6,000 円載っている。主要事業の一覧では総事業費が 811 万 6,000 円ということで、7 節・賃金の一番下、林積調査賃金というのを今回計上しているが、それと合計した額だ。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） わかった。次にその下の小値賀町のふるさとの森づくり事業とあるが、保全松林緊急保護整備委託とふるさとの森づくりの違いが、松くい虫等の被害木の伐倒と、ふるさと森林づくりは松毛虫等の被害を受けた枯損木について伐倒を行うということで、松くい虫と松毛虫の差がここにあるが、このふるさとの森林づくりにおいて、松くい虫で枯れた松の伐採はできないのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） ふるさとの森林づくり事業では、松くい虫で枯れた松も実施できる。ただ、事業の仕分けとして、ふるさとの森林づくり事業は森林環境税が財源になる、申請して認められないとどうか分からないので、予算上は単独事業という形で上げているが、これについては割と幅広に事業ができるようになっているが、衛生伐に関しては松くい虫の被害にあった当年枯れの松の処理しかできないようになっているので、その違いがある。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） ふるさとのほうが許容範囲が広いということか。これは今年だけじゃなく、申請が通れば来年以降もできるということで解釈していいか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 枯損木の処理なので、宮崎委員の言うとおりで。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） さらに先に返るが、1 項・農業費の 3 目の 19 節、69 ページだが、離島流通効率化・コスト改善事業費補助金 430 万円。これは国境離島新法の地域社会維持交付金からということで、前、町長から説明があったが、10 分の 8 が補助金になって、自己負担が 10 分の 2 ということで、これは個人的にはどういう、輸送費に充てられると思うが、

どのような感じで受益者には実感が持てるような補助金になるのか、流れを説明してほしい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この事業は委員が言うように 28 年度まで離島活性化交付金事業で実施していたが、29 年度から地域社会維持推進交付金という、いわゆる国境離島の交付金に振り替わることになっているが、事業の補助率も変わっているが、事業の手続き上は、ここでいうと農業用の輸送コストは農協が申請主体となって手続きを取る。そのあとに農業者に給付が行われる。実感が持てるかというのは、営農通帳をしっかりと見ていただく、それからアナウンスをするということになるかと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 営農通帳を見れば振込まれているそうだが、いままではこういった輸送費は農協から引かれていたのか。実費は。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 手続きとして、農協の共販というか系統出荷にかかる手数料とかが、あらかじめ普通に生産者にかけて、一旦は普通に納めるという形になっていると思う。その後実績に応じてそれぞれの農業者に、先ほど言ったように通帳に振り込まれるという形になっているかと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 分かった。先ほど宮崎議員も林業費で質問したが、松くい虫の予算は年々大体同じような予算で上がっている。国・県の補助金が結構付いて、一般財源からは約 1,300 万出しているが、この事業が始まってから、枯れる松の木の本数というのは大体、何百本かずつ枯れていっているが、この事業が続く限りこの支出は続くと思うが、松が枯れる原因がいろんな学者から出ているが、今後この予算について、同じように国・県の補助金も付くからやっていくのか、小値賀町の松の木の枯れ方をどのように見ているのか。六島などは幼木から大木まで完全に枯れている。小値賀も唐見崎のほうから段々枯れがひどくなってきているが、そういった松くいによる枯れていく状況をどのように見ているのか。担当者でもいいし、町長でもいいし、答弁をお願いしたい。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） これは私の公約の 1 つでもあるが、農業を小値賀で続けていくためにはなくてはならないものだと思う。先ほども出た六島に関しては、農業もしてなかったもので、あまり担当のほうも力を入れてなかったのかなと思うが、あのような結果になってしまって残念だが、ご承知のように宇久も過去何年か間に全滅しているが、ぼちぼち復活しているということで、小値賀の松も新陳代謝を繰り返していくものだと思うが、今考えてるのは、松くい虫に強い種類の松も出てきていると聞いているので、今後はただ自然に回復を待つのではなく、そういう種類に置き換えていくことが必要かと思っているので、そこら辺の手立てができ次第、植林のほうにも手をかけていく計画にしている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 町長の前向きな話を聞いて、少しは安堵しているが、やはりこういう樹木というのはサイクルがあるという話も聞いている。枯れるときはどういう手を尽くしても枯れるそうだ。そして次の世代に代わっていくという話も聞く。ずっと松の枯れ具合を見ていて、一度専門家に小値賀町の松の、空中散布をしても止まらないところもあるし、なかなかしっかり根付いているところもあるし、そういった意味において、本当に人体にもかなり影響もある農薬をずっと撒き続けるのがいいのかどうか、ある学者によると農薬を撒き続けることによって松林の土壌が酸性化して、虫とか何とか関係なく土壌の悪化で松の木が枯れていくという学者もいる。この松くい虫についてはいろんな問題があるので、補助金があるからとか、どうにかやっつけていける予算はあるが、少し小値賀町でもそういうところを研究したり調べたりして効率のいいやり方をやってほしいと思う。その辺についてはいかがか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） ご指摘の件だが、小値賀町では長い間、薬剤による散布と松の伐倒処理という 2 つの方法で松を守ってきたが、委員が言うように、私も実際現場で作業をしてみて、地上散布などだと松が高くなって届かないところもある。防風帯とかを見ても、私のように細くて頼りないような松が並んで生えていて、間引きとかしなくていいのかとか、それから畑に、あるいは農道に松の枝が伸びてきて、農道は車両が通るのを邪魔するし、畑は日当たりが悪くなって、なおかつ松が落ちて作物が作りにくいという話も聞いているので、予算上は目立っていないが、29 年度、松の保全に関して総合的な計画が策定できないかと、県の農林技術開発センターに専門職員がいると聞いているので、そういった方を招聘して現場を見てもらい、29 年度で策定できるか分からないが、もっと薬剤散布や伐倒処理以外にできる保全の方法がないか、手を付けていきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今の答弁でまたほっとした。私はこの松くい虫は議員になった頃からずっと追いかけて、自分なりに一生懸命、学校の勉強よりもしたという覚えがある。その中で、今の課長の答弁はちょっと一歩前進したと感じて、大変嬉しく思っている。知り合いに空中散布をするパイロットがいるが、1 回話を聞いたことがある。どういう状況かと。そのパイロットが、「いや横山さん、あれは僕も撒いているけど、意外と空中で分解してしまって地上に降りていないんだよ」と言う。実施しているパイロットがそう言うので、「そしたら何のためにしているのか」と聞くと「仕方ないからしている」と、何かあまり前向きな意見を聞かなかった。やっぱりそうか、とそのとき思った。この松くい虫の問題を取り上げて、よくいろんな人から「小値賀には命より大事な松の木だから一生懸命守らねば」という声をよく聞いたが、「では公共事業で何本松の木を倒したのか」と聞いたらその答えは返ってこなかった。私は資料はあると思うが、役場が出さなかった。結構、松の木は公共事業で、道を作るときなど倒している。そういう人たちが今度は「命より大事」

と言うから、僕はよく分からなかったが。そういったいろんな問題があるが、今の課長の話を聞いて、総合的な計画というか総合的な判断を一回やってみたいという話を聞いて、非常にいいことだと思う。やはり農薬というのは、空中散布というのは、今は先進国でやっているとところはほとんどない、日本ぐらいだという話を聞いている。そういった、人体に影響がある、そして無差別的に影響がある、全体に撒くから被害を受ける人は受けるし、受けない人は受けない、いろんな問題を含んでいると私は思っている。そういった意味において、今の課長の総合的な見直しはいいかなと思っているのです、どうかそのようにいつも気をつけてやってほしいと言いたいと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 76 ページのアワビ種苗センターについて何うが、今でもエゾアワビは養殖しているのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 続けている。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） いつになったら商品化になるのか、見通しは付いているか。来年になると世界遺産になってお客さんがいっぱい来るから。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） エゾアワビの試験養殖は 3 年ほど続けている。前にも話したかもしれないが、初年度に購入した種苗についてはほぼ歩留まりがなく、原因は購入時からの問題か購入してからの問題かはっきりしないが、ほとんど残っていない。2 年目の貝は 9 割ほど残っているということで、ただ、種苗の購入サイズが 2 センチから 3 センチで購入するが、通常は 7-8 センチぐらいに 2 年間でなり、いわゆる炉端焼きなどで一口アワビといったサイズで消費されるという流れだが、これがなかなか成長せず、私も見たが、2 年経って 5-6 センチ、通常の出荷サイズに 2 年で届いていない状況だ。今後、町内や東京の居酒屋とかに出していくためには、値段の部分もあるが、まずは歩留まりを安定させて、2 年で出荷サイズに持っていけるようにしないといけないが、それについて餌のやり方とか飼い方、上五島などは海面で飼育していて、週に 2 回ほど餌をやってほとんどほったらかしという話で、それでも出荷サイズまで届くというので、そういう現場も見せてもらって、早く出荷できるように努力したいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 3 項 2 目 8 節、地域おこし協力隊謝礼（漁業研修生 1 名）、これは昨年は 2 名分上がっていたが、1 名に減っている。この関連の補助金がいろいろ上がっているが、今、後継者不足である漁業の研修生 1 名について、今どういう状況か、どういうふう今年度育てていくのか、説明を。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 知っている方も多いと思うが、27 年の年末ぐらいに自らの意

思で押しかけてきて、それからしばらく事実上研修状態というか、自分でというか、こちらから漁業者を紹介して、船に乗せてもらって、事実上研修をしていた。去年の 8 月から正式に協力隊として委嘱をして、研修事業を漁協と漁業者と連携のもとで進めている。本人は 1 人乗りの漁船漁業者になりたいという意思がずっとあり、今も変わっていないので、3 月 31 日で協力隊を卒業してもらい、新年度からは 75 ページの 19 節・補助金の 1 番目にある浜の魅力発信・漁業就業促進総合支援事業費補助金というのが 236 万計上しているが、これは県単の事業で、2 年間の研修ができるので、その事業に移行してもらおうと思っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 農林水産業費の質疑を終わる。

農業委員会、建設課関係は終了したので退室していただいて結構。

しばらく休憩する。

— 休 憩 午 後 2 時 08 分 —
— 再 開 午 後 2 時 10 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

第 6 款・商工費

今田委員

委員（今田光弘） 81 ページ、13 節の委託料の中にしまとく通貨の委託料が入っていて、先だって説明を受けたときに町長からも話があったが、現実的にスマホを使うようになって、ほとんど使われていない、売れていないと聞く。その辺は状況として把握されているのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） すみません、情報は毎月発行委員会から送られてくるが、手元に資料を用意していないので、後ほど答弁させてもらう。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 分かった。同じく委託料で、観光窓口業務委託ということでアイランドツーリズムに年間 400 万円で、ワンストップ窓口として出している。ワンストップ窓口、本当にいろんな雑誌とかに全て問い合わせ先がアイランドツーリズム協会の 56-2646 の電話番号が載っていて、かなり電話の対応が忙しい、電話だけでなくメールも忙しいということで、去年の議会の答弁では確か、総務課長が年間 2 人分の金額 400 万円ということで、今年もその計画がされているが、本当に 2 人分 400 万円で足りているのかなと素朴な疑問として思うが、アイランドツーリズムからの要求とかその辺はないのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 28 年度に引き続き同額で予算計上しているが、アイランドツ

ーリズムからの増額の要望はあっていない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 82 ページに行く。一番上だが、西海国立公園区域図電子化業務とあるが、これはどういった業務か。内容の説明を。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） これは今、うちに小値賀町の西海国立公園区域の区域図があるが、紙の状態だ。昭和 48 年測量というもので、長い間、紙での管理になっているが、48 年ものということでそろそろ電子化して管理したほうが良いということで、今回委託料の予算化をした。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） それを考えると 120 万というのはすごく少ない気がするが、PDF かどうか、表面的なものをコンピュータに取り入れるのか、それともプロットで追いかけていくのかとか、その辺はいかがか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） プロットになる。国調のデータを利用したいと思っている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 分かった。その下だが、14 節の公衆無線 LAN 接続状況管理サーバーというのがあるが、公衆無線 LAN というのはどこにあるのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 小値賀港ターミナルと野崎島の自然学塾村だ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 横山委員

委員（横山弘藏） 19 節の地域おこし協力隊研修参加負担金、これはどういう研修か。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 自然体験関係の研修会が主になる。キャンプの講習会であるとか。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今度できるビジターセンターにも地域おこし協力隊を配置するということだが、ビジターセンターの運営に関しての研修は考えていないのか伺う。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） ビジターセンターに配置するスタッフに関しては、他のビジターセンター、九十九島であるとか、私たちも行ったが、佐世保の黒島のウェルカムセンターといったところに研修に行かせたいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 何でも最初が肝心と思うので、今度のビジターセンターの接客が、ある意味接客業と同じようなところがあると思うので、しっかり研修をしてもらいたいと思う。それから 19 節、同じところの佐世保・小値賀観光圏整備事業負担金、五島列島おもて

なし協議会負担金 400 万と 360 万と上がっているが、これの最近の活動状況について知らせしてほしい。もう 1 つ、その下の広域周遊ルート（平戸～小値賀～上五島）、これは新聞にも載ったが、90 万負担金が上がっている。これの最近の進捗状況を伺いたい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 観光圏事業だが、26 年度に小値賀エリア限定のホームページを作成しているが、27 年度は周遊型観光整備事業ということで、小値賀地区の観光案内版、パンフレット、リーフレットの作成を行っている。今年度は引き続き観光案内版の整備、ホームページの調整、改善といったことに取り組んでいる。五島列島おもてなし協議会だが、五島地域の各市町で着地型観光の旅行商品を販売するというものに参画しているが、去年の 11 月と 12 月にギリシタン物語の小値賀版ということで、周遊ルートの商品開発と販売を行っている。広域周遊ルート、平戸～小値賀～上五島協議会だが、これは県北と平戸市、小値賀町、新上五島町で協議会を作って、世界遺産を見据えた広域の、今まで航路のないルートの開発のための事業だが、今は協議会を 4 月、新年度に立ち上げるということまで来ている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 新しい航路の新設だが、見通しはどうか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 航路というか、観光ルートの開発といったほうがいいのかと思うが、船は平戸から丸銀さんか、船を何隻か持っているそうだが、小さい船から 40 人ぐらい乗れる船まであるそうだが、それとレジャー船、観光船といった船での運航になる。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 少し前の横山委員の質問の中で、地域おこし協力隊の研修の中身は何かという質問に対して、キャンプ等ということを回答したが、29 年度に NPO に行く地域おこし協力隊は藤松だと思うが。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） すみません、答弁誤りだ。今田委員が言うとおりの、NPO2 名というのは藤松レストランの 2 名だ。NPO2 名のキャンプ等の研修というのは 28 年度までの誤りだ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そうなると、先ほどの横山委員の質問の内容だが、今年度 12 万円で計画されている NPO2 名の研修というのはどのような研修か。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 例えば東京のご当地居酒屋等の他の店舗の視察等を予定している。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 先ほどの今田委員の質問に対して答弁を保留していたので答

弁する。28年度のしまとく通貨だが、電子化されてからの実績だが、換金件数が24件、換金額が53万7,000円という状況だ。

委員長（土川重佳） 商工費の質疑を終わる。

しばらく休憩する。

（産業振興課退室）

— 休 憩 午 後 2 時 28 分 —

— 再 開 午 後 2 時 33 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

第9款・教育費

宮崎委員

委員（宮崎良保） 小中学校のことで聞く。学校教育の中でICT教育整備事業が小学校と中学校とである。「離島という教育環境の格差を是正し、教育効果の上昇を図り、児童生徒の学力向上に資する」と書いてあるが、その内容の説明を。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） ICTの整備事業については、今年度28年度に小学校費中学校費それぞれ備品購入として電子黒板4台とタブレット25台ということで予算計上していた。その導入に向けて学校とも調整をしながら、補正予算だったが先進地にも行き、情報収集をしたところ、まずICTの整備について、過疎地域は過疎債が適応になるということが分かった。これはリース料、備品購入ではなくてリース料であれば過疎債の適用になるということが分かり、あと、その機器類の選定や数などももう一度先進地に行って精査したところ、もう少し充実したほうがいいという結論に至り、今回28年度の予算については、今度の補正予算で取り下げているが、29年度できちんと数等も整理し、リース料という形で予算計上したい。内容は、小学校中学校それぞれ1クラス分、25台ずつのPC、タブレット式のパソコン、それから各教室に電子黒板、小学校中学校全部で12台、それと無線LANの整備工事を予定している。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） このことについては先日、中学校の模擬議会の中で中学生の質問にもあった。やはり島ということで、他の町村とのコミュニケーションがなかなかできないわけで、どうしてもこれがいいというか、将来的にわたっていい環境づくりをするにはタブレットを主体とした、という感じだったが、これはPCと電子黒板ということで、将来的にタブレット購入というのはないのか。タブレットのほうが、強いて言えばインフォメーション&コミュニケーションテクノロジーということで、コミュニケーションに関してはタブレットのほうがしやすいのではと思うが、その辺はどうか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） タブレットについては、先進地でも聞いたが、タブレットがいいのか、タブレット型のパソコンがいいのかということで聞いたら、ウィンドウズ対応のタブレット型のパソコンのほうが使い勝手がいいと、いろんな互換性とか、そういうことも含めてそちらのほうがいいというアドバイスももらったので、そちらのほうで検討したい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 **今田委員**

委員（今田光弘） 95 ページの 18 節に備品購入でデジタル印刷機が出ている。小学校ではレーザープリンターということで、通常、デジタル印刷機と考えると、コピーの枚数が多い場合にはデジタル印刷機のほうが有利かと思うが、中学校でデジタル印刷機を導入する理由は何か。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 議員の言うとおりに、デジタル印刷機というのは大量に文書を作るときの輪転機だが、これは学校にもあるが、老朽化で、10 年以上経っていて、修理等がかえって金額がかかっているので買い直したいと予算要望が上がっている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） さっきの宮崎委員のタブレットに関して、関連して質問したいが、何十台かパソコン型のタブレットを購入するが、コンピュータ関係、タブレットもそうだが、機種がよく更新していく。ある人に聞いたところによると、意外と維持管理というか、後のランニングコストが終わることなく続くそうだ。そういった意味で、導入は簡単にできるが、後の経費で結構難しい面も出てくるという話だが、今後のそういう予定というか見通しはどうか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） まず、リース料にすると故障時の保証等についてはリース会社にきちんとやってもらうというメリットもあるし、備品で一括で買うと長く使えるのは使えるが、ずっと使っていくと、ソフトをダウンロードしたりとか、使っていく間にだんだんスペックが大きくなって、固まりやすくなって、だいたいリース期間である 5 年ぐらい経つと、パソコンとしての性能がなかなか発揮できないということも言われていたので、その分についてはリース更新あたりも含めながら考えていきたいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 過疎債でリースするとなると、リースが切れるたびに更新していくのか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 過疎債については、ご存知のように過疎計画にきちんとそういうことで事業費として上がって認定してもらえれば、継続してできると思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） タブレットを教育に用いるわけだが、例えばどういったことに用いて子どもの教育に資するのか。そしてまたそれによってどういった、例えばデメリットの部

分も出てくると思う。いろんな教育の専門家によるとそういうのは勧めない、子どものうちはあまり良くないとかいう学者もいるが、そういったメリット、デメリットの部分があれば教えてほしい。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 先日の先進地視察でも感じたが、まず ICT 機器を使うことに関しては、子どもたちの学習規律というものが求められており、要するにパソコンを授業途中で触ったりとか、手まぜをしないと、そういう学習規律がきちんと整っていないとなかなか ICT 教育に取り組めないという実情があるようだ。そういう面ではきちんとした学習規律に学校が取り組んで、そのあとに活用するのが一番いいと思うが、そのようなことで、ICT 機器が特に低学年とか知的な問題を持った子どもに対しても、視覚的にも大変興味を持ったりして、成績が上がるということで、先日、山江村では、導入して 2 年で秋田県を追い越すような成果も出しているようなので、そういう面では学力向上にも十分役立っていくと思っている。デメリットについては、ないというか、そういう話は聞いていない。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） 私のほうからも付け加えさせてもらう。私も熊本県の山江村に行って視察をしてきた。そういう中で、今、次長が申したように、特に低学年とか少し特別支援の必要がある子どもたちに大変有効だというような教育長の話聞いてきたところだ。一方、デメリットについても、例えば目が悪くなるとか、タブレット、パソコンばかりすると姿勢が悪くなるんじゃないかという話もしたが、これについても、先ほど次長が話したように、学習態度、規律を十分に守らせるというところで、目が悪くなるという状況はないし、例えば猫背になるといったようなことも、今のところ 5 年経っても見られないということだったので、そこら辺を学校とも調整しながらやっていきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 教育費、ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 100 ページに工事請負費、15 節だが、町民ホールの舞台幕の工事というのが入っている。当然、舞台幕が古くなったから交換するということだと思うが、状況について話してほしい。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） この舞台幕については、センターが会館した当初からのものであり、昭和 50 年に作られてそのままになっている。幕がボロボロで触ると破けてしまう、穴が開いてしまうという状況なので、今回、取り替えるということで予算計上している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 5 目の 19 節・小値賀町文化的景観保護推進事業費補助金 325 万 4,000 円。この内容を知らせてほしい。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） これは文化的景観における重要な構成要素として登録されている川崎勘一郎さんのところの造り酒屋屋敷の旧木村家の改修工事になっていて、内容として

は屋根の工事と外観の修景工事となっている。

委員長（土川重佳） 同じく 5 目の 13 節の委託料の旧野首教会の、これはシロアリか、防蟻点検業務委託料。シロアリか何か入っているのか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） シロアリ自体は入っていないが、今年度から定期的にシロアリの駆除とか検査をやっており、来年度はベイト工法という形の処理を行ってもらう。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 浦 委員

委員（浦 英明） 最初のほうに戻って、90 ページの 8 節・報償費の中に英語教育指導者研修会講師謝礼といのがある。この内容を尋ねる。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） これは小中高一貫教育を行う上で、今後、小学校が英語教育が徐々に義務化になるということもあるし、幼児教育から英語を取り入れたらどうかということで、こども園、小学校、中学校、高校も含めた形での英語教育に関する研究会を今度やろうということで、それに関する講師の謝礼ということで計上している。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） いつか聞いたが、こども園、要するに子どもの頃から英語教育をさせるということ聞いた記憶があるが、幼稚園の低学年というか、そういった子どもたちにはどういった方法で教えるのか。例えばスピードラーニングといった方法で聞かせるのか、内容についてちょっと尋ねる。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） そういう内容も含めて、今後、そういう先生の話も聞きながら検討していくが、教えるということよりも、身近に英語を聞かせたりとか、読み聞かせ等しながら、身近な言葉として認識させることから初めていったほうがいいのではないかと思う。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） この前、小中高一貫教育の報告会があったが、その時に私は懇親会に行き、奈留の先生と話をしたが、国の人か、何といったか名前を忘れたが、国の人から「浦さん、奈留のほうは今やっているから奈留の先生に聞いてみれば」と言われて奈留の先生とも話しをしたが、奈留が今度モデル校として英語をメインにやると。そしてもう 1 つは小中高一貫教育をやっているんだと。その 2 本立てで離島留学制度を取り入れるという話を聞いたので、うちのほうも何かメインとなるようなことはないのか。そういったことは考えているのか、尋ねる。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 議員が言うように、奈留については英語で今後やっていくということで、離島留学も取り組んでいるところだ。当町としても学校とか教育委員会も含めてそういう協議をやっているが、当然、英語教育というのも今、ALT 上がりのブレット先生

とか、ほかに外国の方も今はよく来ているみたいなので、そういう方たちを巻き込みながらそういう取り組みをやっていけたらいいなという協議は現在行っているところだ。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） この離島留学制度については、国の方から言われたが、小値賀もやっていいんだと、要するに、モデル化を目指さなくても十分、今までやってきてるんだから自信を持ってやってくださいと。そしたら離島留学制度などもちゃんと受け入れられてできるから、そういった態勢をちゃんと固めなさいと、そういう話をされた。名前は忘れたが。だからそういうことでもって、まだ離島留学制度の報告書というか、それが出てないので私もよく分からないが、もうすぐ出てくるのか、それは確か永田係長がやっていたのか、後で報告書を渡すとか言っていたが 30 年度で終わって 31 年度、32 年度ぐらいで実践というか、やりたいようなことを言っていたので、私が言いたいのは、もう少しスピード化してやってもらえないと、ちょっと奈留に先行されて小値賀が置いていかれるような懸念を持ったので、ひとつお願いしておく。これについてはちょっと考えてほしい。答弁はらない。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 横山委員

委員（横山弘藏） 7 目・世界文化遺産登録推進事業費の 19 節・負担金、世界遺産登録市町負担金。こういう負担金があるということは、世界遺産に向けていろいろあっていると思うが、世界遺産登録の動きはどうか。分かる範囲でお願いします。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） 世界遺産の動きについては、町長の冒頭の説明もあったと思うが、2 月 1 日に正式にイコモスのほうに推薦状として提出されている。今後だが、まずは今年の秋口にイコモスの調査が入る予定になっている。それに向けて現在、どういうルートで資産を見せるか、そういう協議・検討を行っているところだ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 部活遠征費のことで伺う。中学校に関する部活の遠征費については、ほとんどがスポーツ関係の遠征費の補助となっている。何年か前までブラスバンドとか音楽関係等もあったと思うが、こういうのは今年度は何もないのか。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（前田達也） この部活動遠征費補助の中に、野球部、テニス部、バドミントン部、陸上部、それと吹奏楽部の分が入っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 教育費の質疑を終わる。

しばらく休憩する。

— 休 憩 午 後 2 時 56 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

ただいままでの一般会計予算歳入歳出全般についてご質疑願う。 横山委員

委員（横山弘藏） 総務費、29 ページ、3 節の時間外手当 950 万出ている。昨年は 800 万だったが、少し上がっているようだが、今のマンパワー不足で結構皆忙しい思いをしているのは私も肌身に感じるが、どうか。時間外手当は最近ではクロネコヤマトの宅急便でも問題になっているようだ。忙しすぎると。そういった大きい企業でも問題になっているが、小値賀町において、やっぱり時間外手当をしっかり確保してやらざるを得ない状況なのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 時間外手当については、非常に私も大変苦慮しているところだ。どうしても時間外に発生するような案件はあるし、それ以外にも業務が多忙で、どうしても時間内に消化できない部分、新しく計画作りをしなければいけないとかいった場合に発生することもあるし、当然、確定申告の時期、災害、選挙といったものを含めて時間外発生するが、極力効率的な仕事をやって、時間外命令については上司が命令を出して仕事をするという格好になるので、上司がしっかりそこを把握して極力時間外を減らしたいと考えている。しかし実際には相当・・・小値賀町の時間外はよその自治体に比べると、これでも時間数は少ないところで、よそはこの倍近いとかいった状況なので、今、公務員はどこでも合併後、職員の削減に取り組んだ結果、労働環境は非常に悪くなっている。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 付け加えさせてもらうが、この時間外というのは、課長も言ったが、命令を切って初めて成り立つ時間外なので、私としては課長が仕事しろと言った以上は払わざるを得ないということになっている。だから、減らしてもらうように話はしているが、現実には各管理職それぞれいろいろな言い分があり、一律に切るとか以前はやっていたこともあるが、何割だけ払うとか、そういうことは皆さんの理解も得た上で、そういうことがないようにしている。今回、時間外が上がっているというのは、現状に合わせているということもあるのかもしれないが、一応、予算を確保した上でまた時間外を減らす努力はしていく。そしてまた、人事異動をやると必ず増えるというのが付き物だが、これもまた考え方で、これをやらなければいつまで経っても減らない。やってみてどこかで減る可能性もあるので、この議会が終わったら人事異動をやり、時間外の削減は努めていきたいと思おうし、幸い今度は勤務評定をやっているのだからそこらへんも参考にしながら今回の異動をやりたいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 時間外手当を減らしてくれという気持ちはない。ただ、安易に時間外手当が増えていくというのはやっぱりどこかに欠陥があると思ひ、今、町長が言ったように努力してもらい、適切な残業手当で推移してほしいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） ちょっと話が飛躍するかもしれないが、今の横山委員の続きみたいになるが、普段、執行部の方が忙しい思いをしているのは本当に分かる。すごく労力を取られているのが出張だと思う。例えば県に出張に行くのがものすごく多いと思うが、それに対する旅費もかなりかかっていると思う。何とか、今、この ICT と言われている時代の中で、例えば県とテレビ電話とかができれば、かなり労力的に減ると思うし、経費も減ると思う。もちろん行かなければならない仕事もあるが、はっきり言って会議に顔を出していればいいという会議も中にはあると思うので、それを考えると、県に対してもう少し、離島が多い長崎県ならではのテレビ電話とかそういうシステムを導入してもらえるようアピールしていったほうがいいのではないかなと思うが、いかがか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 今田議員の言うこともあり、一部の仕事についてはテレビ電話等で会議することも最近は出てきている。ただ全般にはやはり、担当者会議であったり、担当課長会議というのが結構多くて、13市8町になってから、非常にこじんまりとした格好で、結構活発な会議が最近は多いように思う。今言ったように、慣例的にあるようなものについてそういうことができないかどうかは、町村会を通じて、そういうことについての県の考え方も少し聞いてみたいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 教育費のところで感じたが、特に文化財関係、世界遺産や小値賀町の文化財で、需用費を見ると、パンフレットとか説明書とか、いろんな世界遺産等に向けた啓蒙するためとか宣伝するため、ムードを盛り上げるための予算が何もついていないと思って少しがっかりしたが、なぜそう思うかというのと、この前、宗像市に視察研修に行った。世界遺産のことも関係して。そしたらいっぱい資料がある。パンフレットや宝物の紹介、歴史の紹介とか。地域全体で盛り上げようとしているなと感じたが、小値賀町ではたまたま単発的に出ているのは分かるが、もう少し世界遺産に向けた小値賀町独自の啓蒙活動、それからせつかく国から指定された文化的景観、どこにでもあるような資産ではないと思うので、もうちょっと町民に小値賀の宝というか資産を、もう少し積極的に町単独で取り組んでいいのではないかなと思うが、これは教育長にその点、伺いたいと思う。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） 先ほど来、話しているように、世界遺産登録は、今年度の2月にイコモスに再申請をして具体的に始まったところだが、そういう部分で地域の盛り上がりといったものが少し低いことは否めない部分があると思っている。文化的な部分の担当課である教育委員会でもいづらか予算をとって、パンフレットとかについては充実させようと思っているが、指摘のように、世界遺産として町がどう取り組んでいくかという部分の戦略的な予算というか、そういうのが少し弱い感じはする。ご存知のように野崎島の世界遺産プロジェクト会議というのが全部局で担当が集まって開催しているので、その中でもそ

の部分に関して提案しながら、町民も交えながら強化していく必要があると思っている。この件に関しては、教育委員会サイドの意見だが、総務課などとも十分に調整していきたい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 補足する。総務費の企画費で、のぼりとか記念グッズ、印刷製本費といったものを需用費で組んでいる。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 分かった。総務課の予算でも上がっているということで。もう 1 つ宗像に行ってみて感じたのは、電光看板というのか、光って見える、大きい、そういうのが、沖ノ島とか宗像神社が、そういう電光看板で一目瞭然で見えるようにアピールしている。だから小値賀もああいったものをターミナルとか役場のロビーとか、小値賀町が世界遺産に向かっているというのを町民、それから町外から来る人にアピールするといった仕掛けをぜひともやってもらいたいと思うが、町長、どうか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 確かに宣伝が足りないということで、啓発事業に取り組むということで予算化している。横山委員が言ったようなあれは、小値賀に来てもらうことが先だという考えがあるので、小値賀の宣伝をできる、さっきの話じゃないが電子黒板みたいなので宣伝をするというのは、できれば島外に付けたほうがいいのかと思う。そういうことで、今からまた随時、県内の我々の協議会でもいろいろな計画を立てて広報には力を入れる予定なので、そこでできなかった場合には単独でやることも考えていきたいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 教育委員会ですでに出されている調査報告書、ページ数にすると 400 ページからあると思うが、いろんな専門家とか学者が関わって小値賀町の文化的景観についての調査報告になっている。あれを読んでみると、私も何十年も小値賀にいながら小値賀のそういった価値に気付かずにきたことが、ちょっと恥ずかしいぐらいだ。あの内容を見ると、小値賀がいかに文化的に優れていたか、何百年、千年以上前からいろんな交流の文化もあった、中国・韓国との交流もあったとか、すごい歴史があることを感じる。そして野崎島に限っては全島が世界遺産候補になっている。沖ノ島神社から教会から舟森集落、全てが世界遺産の指定になっている。そして重要文化的景観も、営々と小値賀の住民が生活してきた痕跡として全島が指定されている。一部私有地があるのは仕方ないことだが、だいたい町の財産だ。そういったことも、たぶん住民はまだしっかり分かっていないと思う。たまにおぢか新聞等で報告がされているが、それ以外に、今後、総務課と教育委員会が連携してやっていくと思うが、しっかりした目的意識を持って取り組んでほしいと思う。交流人口を増やす意味においても、それから国境離島新法もできたことだし、そして最近、私は九州商船にも電話して常務とも話したが、そういったことを鑑みて九州商船も立派なフェリーを造る方向で協議を重ねているようだ。そういった小値賀に関係ある交通関係も

前向きに検討しているということなので、小値賀町も今の人口が減って笛吹の街の商店街を歩く人もほとんどいない状況、たまに車が通っている状況、ここでチャンスを生かしてしっかり取り組まないと結局手遅れで終わるんじゃないかという、非常に私は危惧を抱いている。こういう予算書に、もうちょっとそういう予算がどんと出てきてもいいと思うが、そういうところで、もうちょっと目的意識を持って取り組んでほしいと思う。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） そういう考えもあろうかと思うが、現実的にはなかなかこれというアイデアも出てきていないし、国境離島法の話になると余計、我々さえ分からなくなるのだから、なかなかこれをという方法はないかと思う。たまたま九州商船の話がされたが、これは現実には確実に動いている様子はない。当然、我々のところにも話があるので、国境離島の今の運賃の低廉化を使ってやろうとするはずなので、話が出てくるのかなと思っている。そういうことで、かねてから言っているが、我々がやろうとしてもなかなか小値賀町だけでは航路の改善はできない。全協でも話したが、野崎も皆さんが期待しているようにアクセスの改善ができていない。朝と夕方だけでいいと決して思わないわけだが、それを増やすための努力も今やっているが、時間的な制約があり、予算化ができていないので、所信表明でも言ったが、いろいろな問題が解決次第、積極的にやっていきたいと思っている。そういうことで、予算化については何回もお断りしているが、時間的余裕が間に合わなかったということなので、議会も通年議会になるので、議会のほうでもどうぞ協議をしてもらい、「こういうことをやったらどうか」という提案をしてもらえればと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

第2表、債務負担行為

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

第3表、地方債

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで議案第39号、平成29年度小値賀町一般会計予算の質疑を終わる。

明日は午前10時から会議する。7つの特別会計予算の質疑を行う。

執行部の皆さん、お疲れさまであった。

しばらく休憩する。

（執行部退室）

— 休 憩 午 後 3 時 23 分 —
— 再 開 午 前 3 時 25 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

討論と採決は、明日の特別会計の質疑の後で、付託された案件全てについて行いたいと思う。

明日は午前 10 時から会議する。

本日はこれにて散会する。

— 午 後 3 時 26 分 散 会 —